

KOGANEI

KSDシリンダへのセンサスイッチ取付時のご注意

取扱説明書 Ver. 1.0

- このたびは、KSDシリンダをお買い上げいただきありがとうございます。
KSDシリンダにセンサスイッチを取り付ける際は、必ずこの注意事項をお読みいただき正しく取り付けてご使用ください。

KSDシリンダ(基本形式**KBSD□S**)へ**ZC1□□**、**CS5T**、**CS11T**センサスイッチを取り付ける場合は、下図のように、必ずセンサスイッチの形式表示面が上側に向くように取り付けてください。

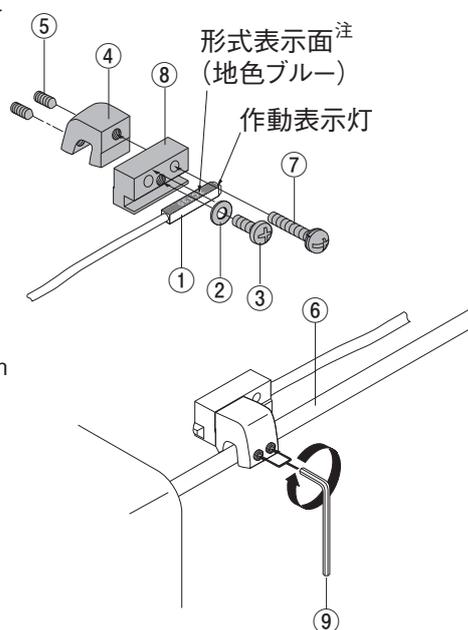
●センサスイッチの着脱・移動要領

センサスイッチ1個をシリンダに取り付けるために必要なもの

- ①センサスイッチ
- ②ワッシャ×1
- ③小ねじ(短)×1
- ④センサホルダ×1
- ⑤止めねじ×2
- ⑥タイロッド
- ⑦小ねじ(長)×1
- ⑧サブホルダ×1
- ⑨六角棒スパナ

φ125:二面幅2mm
φ140、φ160:二面幅3mm

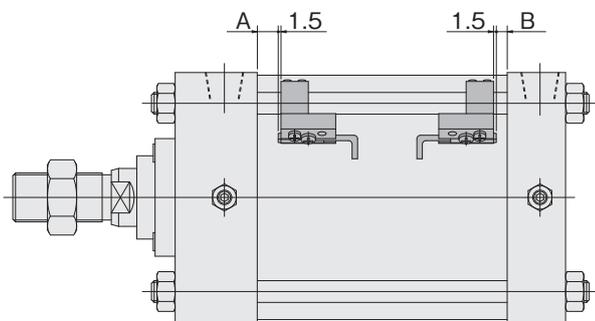
注:センサスイッチは形式表示面の反対面が感度面側になります。取り付ける際は、感度面側にシリンダチューブがくるように取り付けてください。形式表示面を下面(シリンダチューブ側)や側面にして取り付けた場合、誤作動する場合があります。



1. ●センサホルダ④のめねじとサブホルダ⑧の通し穴の位置を合わせ、小ねじ(長)⑦を使用して組み立ててください。
●⑧には通し穴が2個設けられていますが、いずれも使用が可能です。
●⑦の適切な締付トルクは、70N・cmです。
2. ●センサスイッチ①は、形式表示面を上側にして⑧の溝に、小ねじ(短)③とワッシャ②を使用して組み付けてください。
●①の本体と作動表示灯(またはキャップ)の境目を⑧の端面に合わせて組み付けてください。①を保護するために、必ず①の本体が⑧の端面から突き出さないように組み付けてください。
●小ねじ(短)③の適切な締付トルクは、70N・cmです。
3. ●④には、2本の止めねじ⑤が仮止めされています。
●①と⑧が組み付けられた④をタイロッド⑥へはめ込み、所定の位置に合わせてから、六角棒スパナ⑨を使用して、⑤を締め付けて固定してください。必ず⑧の底面がシリンダチューブに接触した状態で固定してください。
●⑤の適切な締付トルクは、φ125用が70N・cm、φ140およびφ160用が200N・cmです。
●シリンダには⑥が4本ありますが、④を取り付けるための⑥は限定されません。また、④をはめ込む方向も自由です。
●2本の⑤を緩めることにより、④は⑥に沿って自由に移動することができます。

センサスイッチ取付位置

センサスイッチを下図の位置(表中の数値は参考値)に取り付けると、ストロークエンドでマグネットがセンサスイッチの最高感度位置にきます。



センサスイッチ形式		位置	シリンダ径		
			φ125	φ140	φ160
無接点タイプ	ZC130	A	11.5	15	15
	ZC153	B	7.5	10.5	10.5
有接点タイプ	CS5T	A	12	15.5	15.5
		B	9	11.5	11.5
	CS11T	A	10	13.5	13.5
		B	7	9.5	9.5

注1:センサスイッチのリード線を外側(図の向きと逆)にして取り付けると、ストロークエンドでは最高感度位置にきません。

2:トランジスタ形の場合、最高感度位置がトランジスタ金具端面より15mm以上離れるように設定してください。

⚠ 危険

必ず上記の取付方法をお守りください。

取付方法を誤ると

- ・センサスイッチが破損する可能性があります。
- ・センサスイッチが誤作動する可能性があります。



株式会社コガネイ

技術サービスセンター
TEL(042)383-7172

※その他、詳細な仕様および注意事項に関してはカタログを参照してください。
※製品に関するお問い合わせは最寄りの弊社営業所または、下記技術サービスセンターへお問い合わせください。